

はばただけ 広島サンダーズ

久原 大輝

7月に入り、ホームタウンである広島市南区のイベントに、3度参加させていただいた。

6日は練習場の猫田記念体育館で行われた、バレー交流会に参加。本年度で3度目の開催となり小学生から大人まで、100人以上の方々と、バレーボールを楽しんだ。交流会の最後には、サンダーズの選



ふらばーるボールを持って記念撮影する高梨選手（左から2人目）たち（13日）



地域交流 身近な存在に

手たちとコートに立ち、白熱のゲームが展開された。

11日は高梨海輝選手が夏の交通安全運動に参加。通勤・通学中の方へ、啓発グッズの配布を行った。爽やかな笑顔で交流を深める高梨選手の姿が何よりも印象的だった。

13日にはふらばーる交流会に参加。ふらばーるとは、球でも楕円形でもなく、説明が難しい形のビニールボールを扱う、レクリエーションスポーツの一つだ。ワンバウンドが認められるルールで、いびつな形をするボールに、選手たちは悪戦苦闘する様子も見えたが、ボールやルールにも徐々に適応する姿は、さすが一流のアスリート。機会があれば、練習前のミニゲームにふらばーるを取り入れてみてはと個人的に思った。

活動拠点である南区内で、もっと多くの方にサンダーズのことを知っていただき、試合会場で声援を送っていただけるよう、地域に愛されるチームを目指したい。

（広島Tマネジャー）